



9歳。12歳。18歳。 “主体的な選択”を。

9歳の選択——学びの大転換期を迎えるとき。
12歳の選択——意思を持って「中学受験」を。
18歳の選択——自分の未来は、自分で決める。

経済産業省「未来人材会議」——人口減少に拍車がかかる中で、社会システム全体の見直しが必要という問題意識から出発しました。この会議の中で2022年に発表された「意識・行動面を含めた仕事に必要な能力等」の56項目。2050年にはデジタル化、脱炭素化を受けた需要の変化として、「問題発見力」「的確な予測」「革新性」などが求められると予測されています。大きな産業構造の変化、労働需要の減少……。でも、これらの予測すら、予測になるかわからない世の中。あらゆる人が時代の変化を察知し、能力やスキルを絶えず更新し続けなければ、今後加速する社会構造の転換に適応できないとも言われています。

変化を当たり前として自分自身をアップデートし、答えのない問いと向き合い続ける。予測困難な社会の中では、すでにわかっている正解を大切にすることよりも、自ら考え、判断し、その時々で“最良の選択”をし続ける「しなやかな強さ」が必要。名声を得るためや就職活動を有利に進めるために偏差値のより高い大学に行く、そんな過去の成功神話にしがみついている、そのためにとにかくテストで高得点をとる、先取り学習をする、あるはずと思いついたゴールに向かって、逆算型でつくられたルールを競争しながら進む……。そんな時代は、もう終焉を迎えたといっているのでしょうか。

社会を変える一人として歩み始める「18歳の選択」に向けて、予め想定できる選択ではなく、その時、その時の「今、ここ」での選択が主体的にできる自分を育てていくことが大切なのです。

18歳での“主体的な選択”につながるファウンデーションをつくる。それは言わば、「過去の幻を追いかけるだけの逆算型」とは真逆のあり方。道そのものを自分で歩みながらつくっていくのです。その歩みは、小学校低学年から始まっています。

自他の分離が始まる学びの大転換期とされる9歳前後。日能研ではこの時期に、子どもの好奇心を大きく刺激する学びを用意しています。例えば3年生算数のテキスト。数学者の発見や歌人の体験を共有する。必然性や効率性を重視したために削ぎ落とされてしまうものの中にも、驚きや感動。それらの体験が、知的好奇心の種となり、学びの原動力になる。ひいては、12歳からの“良質な学びの場”として私学を選択することにもつながる。私学であらゆる学問の入り口に立ち、出あいながら、自分探しの旅を続けるのです。

だから今、子どもの未来にとつての“最良の選択”を、一緒に歩き始めましょう。日能研が応援します。

全国規模の中学受験専門塾〈日能研〉のテストイベント

私学の学びにつながる豊かな体験の入り口

日能研 学ぶチカラテスト

参加無料

12^歳
3

小2

小3

小4

小5

[科目] 3科目(国語・算数・総合) [時間] 1回目 9:00集合 / 2回目 13:00集合 [会場] お近くの日能研各校

保護者会同時開催 ◆保護者会は、テストをお申し込みの保護者のみなさまにご参加をお願いしています。 ※一部、実施要項が異なる場合があります。詳しくは、日能研公式ウェブサイトまで。

テストの詳細・お申し込みは
日能研公式ウェブサイトまで。

日能研 検索
www.nichinoken.co.jp

